

お薬情報室

2種類の^{たいじょうほうしん}帯状疱疹ワクチンについて、 教えてください。

帯状疱疹は水痘^{すいとう}帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる疾患です。このウイルスは本来、水痘（水ぼうそう）を引き起こすウイルスで、子どもの頃に水痘にかかった後も生涯にわたってヒトの神経に潜伏しています。

体内に潜むウイルスが加齢やストレス、免疫低下によって再活性化して帯状疱疹を発症します。症状はピリピリとした痛み（神経痛）に始まり、水ぶくれを伴う赤い発疹が増えていきます。体の左右どちらかの顔や腕、脇腹などの神経に沿ってこうした皮膚症状が見られます。

発疹が治癒した後も、神経痛が数カ月から数年続くことがあり、免疫低下などによって再発する恐れもあります。2013～

2015年に釧路市で行われた研究では、60歳以上の帯状疱疹患者のうち3.4%は入院を要するほど重症化し、9.4%は90日以上痛みが続いたと報告されています。

帯状疱疹の発症率は50歳代から高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。

高齢化が進み、帯状疱疹患者が増えるなか、わが国では主に50歳以上の人を対象として、2016年から「水痘ワクチン」を予防接種できるようになりました。2020年には新たなワクチン「シングリックス」が販売開始となり、現在2種類のワクチンが使用されています。

これらのワクチンには、発症予防効果や接種回数などに違い



解 説 者

西岡病院

札幌市豊平区西岡4条4丁目
1-52
☎ 011 (853) 8322

薬局副主任
岩上 貴弘さん

があります。

水痘ワクチンは生きたウイルスの病原性を弱めたもので、1回の接種で済みますが、発症予防効果はやや低く、5年を超えると効果が低下します。費用は比較的安く、副反応が少ないのが特長です。

一方、シングリックスは病原体を構成するタンパク質からできたものです。2回の接種が必要ですが、発症予防効果が高く、10年以上も効果が持続します。水痘ワクチンを接種できない、免疫が低下している方でも接種可能です。ただ、注射部位の痛みが出やすいです。

費用など接種について不明な点がありましたら、かかりつけの医師または薬剤師に相談してください。